

ぎのわん地域づくり塾の様子をお伝えします

NEWS LETTER Vol. 7



ぎのわん地域づくり塾

令和元年度
- 第4期 -

主催：宜野湾市／宜野湾市教育委員会／宜野湾市社会福祉協議会
共催：沖縄国際大学／琉球大学 運営：NPO 法人まちなか研究所わくわく

第7回 最終発表・修了式

日時：2019年10月5日（土）9:30-16:00

講師：櫻井 常矢氏（高崎経済大学教授）

宮道 喜一氏（まちなか研究所わくわく）

場所：宜野湾市社会福祉協議会

参加者

塾生 19名

一般 4名



10月5日（土）に、市社会福祉協議会で第4期となる「地域コーディネーター養成講座・ぎのわん地域づくり塾」の最終発表会と修了式が行われました。

モデル地区である嘉数区が抱える地域課題について、嘉数区民、市民、大学生、市職員など様々な参加者が話し合い、まとめた企画案を嘉数区の皆さんに向けて提案しました。そして当塾のアドバイザーである櫻井常矢教授による統括コメントを頂きました。

嘉数区の伊波稔自治会長は「提案いただいた企画は、自治会としても検討しながら、実現できるように頑張っていきたい。皆さんも地域コーディネーターとして、協力いただければと思っています。」と話しました。

各チームからの提案など詳しくは、

ホームページをご覧ください。





嘉数高台公園の活用

(チーム名：嘉数高台公園を立て直す隊)

嘉数高台公園を平和学習の場として、さらに有意義に活用するために、QRコードによる案内板を設置することを提案した。



子どもの居場所をつくろう！！

(チーム名：わらば〜見守り隊)

放課後に子どもたちの居場所がないことを課題と設定し、学習支援や遊び、ゆんたくができる子どもの居場所を提案した。



嘉数高台公園の活用と平和の語り部の継承

(チーム名：ねだて)

嘉数区民向けの平和学習と、語り部の継承のため、ラジオ体操と平和学習を合わせたイベントを提案した。地元愛をはぐくみ、語り部の担い手育成につなげる。



ジュニア・エイサー隊結成！

(チーム名：Eーね！かかずっ子！)

子ども会を卒業して、青年会に入るまでの受け皿がないため、中学生を中心とした団体（ジュニア・エイサー隊）を作ることを提案した。



E-スポーツを通じた嘉数公民館のサロン化！

(チーム名：嘉数E-スポーツ普及会)

公民館をサロンのような世代間交流の場とするためE-スポーツを活用することを提案した。専門委員会を設立して継続的な活動を目指す。



< 塾生の声 >

● 仲本雄哉さん

宜野湾市民ではないので心配でしたが、分け隔てなく接していただいた。自分が住んでいる地域を考えるキッカケになった。

● 髙元大貴さん

嘉数区に対して、多くの方が考えて意見を出してくれたことが嬉しい。嘉数区のために何かできるか話し合いながらやっていきたい。

● 翁長笑花さん

大学生から地域の方まで幅広いメンバーで話げできた。このつながりを大切にして、仕事にも活かしていきたい。

● 城間浩さん

宜野湾にこんなにポテンシャルのある人がいることに気づいた。いろんなアイデアをいただいた。今後も地域のことに取り組みたい。

● 伊波清正さん

この3か月の間でたくさん話し合いができた。意見やアイデアをたくさんいただき、嘉数地域の活性化のため活かせるよう頑張りたい。



高崎経済大学

櫻井常矢 教授 (塾アドバイザー)

総括コメント～抜粋～

最終発表後、櫻井先生よりコメントを頂きました。

- 大胆ですが、すぐに取り組みそうな現実的な提案が多くありました。
- 地域づくりは事業・活動に至るまでのプロセスを丁寧に取り組むことがポイントです。
- 自治会加入に関する発表が多くありましたが、コーディネーターはあくまでも自治会と地域に暮らす人々の中間に立つ役割です。
- コーディネーターは遠回りなものを好む姿勢が大切です。地域づくりは、成果がすぐに出るわけではないので、根気とこだわりが必要です。
- 地域は生き物です。良い時もあれば、大変な時もあります。その盛衰を語るだけで地域は元気になります。
- この塾での学び、そして仲間との出会いを大切にして、実際の地域づくりの現場でともに頑張っていきましょう。

< 塾生の皆さまへ >

卒業おめでとうございます。第4期ぎのわん地域づくり塾では28名の方が卒業しました。第4期生を含めた本塾の卒業生は、合計121名となりました。これからも塾生同士のつながりを大切に、一緒に頑張っていきましょう。

